**ドキドキした表しょう式**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**小崎小　三年　椎葉　蘭丸**

　「この川はピカピカキラキラたからもの」

ぼくのひょう語が、全国でえらばれ表しょうされました。場所は、しゅうぎいんかいかん第七会ぎ室でおこなわれました。

　表しょうされた人は、ぼくをふくめて六名でした。じゅん番によばれ、水さんちょう長かんしょうで、ぼくの名前がよばれ、きんちょうの中、ぼくは、大きくへん事をし、前にでました。

　はいくの表しょう式は、はじめてだったので、ドキドキしました。

表しょうじょうをいただいたとき、みんなのせい大なはくしゅがありました。

　ぼくは、そのときはじめて自分が、すごいしょうをとったのだと感じました。

　一れいをして、せきにもどりました。その後も一人一人の表しょう式がおこなわれました。そして、さいごにおれいの言葉を話す時間になりました。

　「椎葉蘭丸くん。」ぼくは、大きくへん事をして、前にでました。きんちょうと、うれしさが、いっぱいで、みんながぼくを見ているのでぼくは頭の中が、まっ白になり、なみだが出てしまいました。でも、ぼくはそのとき思い出したのです。学校の下のきれいな川を。

　そして、この場所でみんなにがんばって、つたえなきゃ、と思って、なみだをふいて、小崎川のいい所をぼくは、つたえました。

　ぼくのあいさつが終わったときは、大かんせいでした。ほくは、きんちょうもほぐれ、ほっとしました。ほかの人たちも、しっかりと、自分たちの川のことを、アピールできていました。

　この水さんちょう長かんしょうというめいよあるしょうをいただいたこと、そして、東京とでのひょうしょう式に出ることができたことがうれしく思います。ぼくの一生の大切な思いでになると思います。

　いただいた、しょうじょうを大切にします。

いただいた、記ねんひんも大切にします。

ありがとうございました。